

(財) 三菱UFJ環境財団

契約の内容

(分収育林)

名称	所在地	契約年度	現地の概要
水源の森	群馬県利根郡みなかみ町	平成8年度	カラマツ等の針葉樹やブナ、ミズナラ等の広葉樹からなる14haの国有林

設定の目的

(財) 三菱UFJ環境財団の前身の1つである(財)サンワみどり基金は、財団設立25周年記念事業として、首都圏の水源地である利根川源流域に、関東森林管理局と「法人の森林(分収育林)」を契約しました。

「水源の森」と名付け、水源のかん養を図るとともに、児童・一般市民を対象とした自然ふれあい学習、保健・休養の場として活用し、みどり豊かな自然環境の保全並びに森林文化思想の普及、実践を目的としています。



活動内容



「水源の森」を活用し、自然ふれあい学習や林間学校等を実施し、多くの参加者の皆様と自然観察や林業体験を通して、自然と親しみ、自然とふれあう活動を展開しています。

例えば、間伐材を利用した東屋兼自然観察小屋、丸太ベンチ、散策路等を作設して、自然ふれあい学習の場と機会の提供や憩いと安らぎの場の提供、研究フィールドとしての利用、森林文化の発信の場としての利用など、多様な活動の場としています。

同財団のホームページに「[水源の森](#)」での活動内容を紹介するとともに、毎年一般市民及び児童学生等を参加対象とするふれあい学習の参加者を募集しています。

■環境貢献度評価■

環境貢献度評価 (平成22年度評価)	「水源の森」	
① 水源かん養への貢献	5,776 m ³ /年	(2L ペットボトル 288 万 8 千本分)
② 土砂流出防止への貢献	186 m ³ /年	(10t ダンプ 34 台分)
③ 二酸化炭素の吸収・固定への貢献	34 t/年	(年間 CO ₂ 排出量 106 人分)